

対エクアドル草の根・人間の安全保障無償資金協力

「エスペホ市消防署車両整備計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「エスペホ市消防署車両整備計画」のための、当館とエスペホ市による贈与契約署名式が行なわれました。

供与額： 9,809,250円
贈与契約締結日： 2016年2月17日

カルチ県エスペホ市エスペホ市消防署は、2008年に設立され、現在、消防活動、人命救助活動、地域住民に対する防災意識向上のための啓蒙活動などを実施しています。市内の教育機関において、小学生高学年、中学生を対象に消防活動の紹介、応急処置の講習など課外授業を行っています。同消防署は、防火衣や消火器、また救助活動用の装備・機材を整えており、車両については、容量4,000リットル給水タンク車1台、ピックアップトラック1台、オートバイ1台を所有しています。また、市内中心部には消火栓設備も整っています。しかしながら、既存給水タンク車は消防ポンプ自動車の消火活動を補うことはできても、それ自体が消火活動を実行する能力がないため、十分な活動を行うことができていません。同市内にはエル・アンヘル自然保護区があり、山火事が頻繁に発生し、地域の自然環境ならびに産業活動に打撃を与えています。既存車両での活動内容は限られており、消防車による対応が必要な場合は、南部で県境を接するインブラ県のイバラ市消防署に出動を要請しなければならず、迅速な対応ができていないことから、エスペホ市独自で活動を行うために、新たな消防ポンプ車が求められています。

本計画は、前述の地区において1消防車を配備することにより、同市消防署の活動が強化され、地域住民の生活の安全性の向上に貢献しようとするものです。

計画実施前



署名式

